

## 八木宏樹名誉教授略歴

### (生年月日)

昭和27年12月7日

### (学歴)

1972年～1976年 東京水産大学 水産学部 増殖学科

1976年～1978年 東京水産大学 大学院 水産学研究科 水産増殖学専攻

1978年～1980年 東京水産大学水産学部増殖学科 研究生

1979年～1980年9月 フランス国立海洋開発研究所 (CNEXO-COB; 現  
IFREMER研究員) (フランス政府給費留学生)

1980年～1983年9月 フランス国立エックス・マルセイユII大学 理学部大  
学院 博士課程 (第3段階課程博士) 修了

### (学位)

理学博士 (第3段階課程博士) (フランス国立大学エックス・マルセイユII  
大学)

農学博士 (東北大学)

### (職歴)

1986年4月～1991年5月 道立北海道原子力環境センター 水産研究科長

1991年4月～1997年3月 北海道立中央水産試験場海洋部主任研究員兼海洋  
科長

1997年4月～2016年3月 小樽商科大学商学部教授

1999年4月～2000年3月 小樽商科大学商学部一般教育系主任

2004年4月～2016年3月 小樽商科大学大学院商学研究科 兼任

2013年4月～2014年3月 小樽商科大学商学部一般教育学科系主任

2014年4月～2016年3月 小樽商科大学教育研究評議会評議員

2016年4月～2018年3月 小樽商科大学大学院商学研究科特任教授

### (委員歴)

1997～ (財)札幌日仏協会 理事

1998-2006 泊発電所周辺環境監視協議会(北海道)委員(2005-2006は技術部会副部長)

1999-2002 勝納川河川整備計画検討委員会(北海道)委員

1999-2002 小樽山麓グリーンベルト整備基本計画構想策定検討委員会(北海道)委員

1999-2002 日本海南部海域複合的資源管理型漁業促進委員会(北海道)委員

2001-2005 石狩後志地区漁港管理委員会(北海道後志支庁)委員

2002-2003 室蘭市地域環境産業拠点形成実施計画策定調査委員会(室蘭市)委員

2003-2004 小樽市緑の基本計画策定委員会(小樽市)委員

2001-2003 日仏海洋学会(東京)評議員

2003-2010 日仏海洋学会(東京)副会長

2003-2012 北海道環境財団 評議員

2004-2007 石狩後志地区海面利用協議会(北海道後志支庁)会長

2004-2005 日本海南部海域多元的資源管理型漁業促進委員会(北海道)委員

2005 北海道PCB廃棄物処理計画委員

2008～ 北海道後志総合振興局小樽建設管理部総合評価委員会委員

2008～ 北海道後志総合振興局農村振興部総合評価委員会委員

2008-2015 農商工連携対策補助事業評価委員会(北海道経済産業局)評価委員

2010～ 小樽開発建設部総合評価審査委員会委員

- 2010 小樽市小学校用教科用図書選定委員会委員
- 2010-2013 北海道食料産業クラスター協議会農商工連携コーディネーター
- 2010～ (一社)北海道食品産業協議会 技術顧問
- 2011 小樽市中学校用教科用図書選定委員会委員
- 2013～ 小樽市環境審議会（小樽市）会長
- 2015-2017 平川水産株式会社技術顧問
- 2016～ 北海道海面利用協議会（北海道水産林務部）委員

## 八木宏樹名誉教授研究業績表

### (MISC)

- UNO, Y. and YAGI, H. (1980) : Influence de la Combinaison des Facteurs Température et Salinité sur la Croissance Larvaire de *Macrobrachium rosenbergi* (De Man) (Palaemonidae, Décapodes, Crustacés). [オニテナガエビ幼生に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] *La mer* 18(4):171-178.
- YAGI, H. and UNO, Y. (1981) : Influence de la combinaison des facteurs Température et Salinité sur la Croissance Larvaire de *Macrobrachium nipponense* (De HAAN) (Palaemonidae, Crustacés). [テガナガエビ幼生の変態に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] *La mer* 19(4):93-99.
- YAGI, H. and CECCALDI, H. J. (1983) : Croissance, survie et respiration des stades larvaires de *Palaemon serratus* (Pennant), Crustacea Decapoda, À différentes combinaisons de salinité et de température. [ヨーロッパスジエビの成長・呼吸に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] *Rapp. Comm. int. Mer Médit.* 28(6):345-348.
- YAGI, H. and UNO, Y. (1983) : Influence combinée de Température et de Salinité sur la Croissance Larvaire de *Macrobrachium japonicum* (De HAAN) (Crustacé, Décapodes, Palaemonidé). [ヤマトテナガエビ幼生の変態に及ぼす温度・塩分の複合影響 (仏文)] *La mer* 21(4):211-217.
- YAGI, H. and CECCALDI, H. J. (1984) : Influence combinée des facteurs température et salinité sur la métamorphose et la croissance larvaire de la crevette rose *Palaemon serratus* (PENNANT). [ヨーロッパスジエビの変態に及ぼす温度・塩分の複合影響 (仏文)] *Aquaculture* 37:73-85.
- IGARASHI, Y. YAGI, H. and UNO, Y. (1984) : Influence combinée des facteurs température et salinité sur la croissance larvaire de *Palaemon pacificus* (Stimpson) (Palaemonidés, Décapodes, Crustacés). [イソスジエビ幼生の変態に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] *La mer* 22:287-292.
- YAGI, H. (1984) : Some data on the larval rearing of two crustacean species *Palaemon serratus* and *Penaeus japonicus*. Second Jap.-Fr. Aquaculture Symp. 61-65.
- YAGI, H. and CECCALDI, H. J. (1985) : Rôle de la température et de la salinité sur la mue, la métamorphose et la croissance, à chaque stade larvaire de *Palaemon serratus* (PENNANT) (Palaemonidae, Decapoda, Crustacea). [ヨーロッパスジエビの各幼生ステージにおける温度・塩分の役割 (仏文)] *Ann. Inst.Océanogr.* 61(1):75-93.
- MARANGOS, C., YAGI, H. and CECCALDI, H. J. (1985) : Influence de la salinité sur la composition corporelle des acides aminés libres dans les oeufs et les premières larves de *Dicentrarchus labrax* (LINNAEUS, 1758) (Pisces,Teleostei, Serranidae). [ヨーロッパ産スズキの卵・稚仔魚の体内含有アミノ酸分布に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] *La mer* 23:177-183.
- YAGI, H. (1985) : Influence de la température et de la salinité sur l'excrétion d'ammoniaque chez les postlarves de *Penaeus japonicus* Bate (Crustacea, Natantia,

- Penaidae). [クルマエビ稚エビのアンモニア排泄に及ぼす温度・塩分の影響 (仏文)] Coll. fr.japon. Océanogr. Marseille, 157-164.
- YAGI, H. (1986) : Le développement larvaire de la crevette rose *Palaemon serratus* (PENNANT) (Palaemonidae, Decapoda, Crustacea). [ヨーロッパスジエビ幼生の発育段階について (仏文)] MESOGEE 46(1):29-43.
- MARANGOS, C., YAGI, H. and CECCALDI, H. J. (1986) : Rôle de la température et de la salinité sur le taux de survie et la morphogenèse au cours du développement embryonnaire chez les oeufs du loup de mer *Dicentrarchus labrax* (LINNAEUS, 1758) (Pisces, Teleostei, Serranidae). [ヨーロッパ産スズキの卵・幼生の成長・生残における温度・塩分の複合影響 (仏文)] Aquaculture 54:287-300.
- 八木宏樹 (1987) : プルターニュからプロヴァンスへフランスの海洋研究所をめぐる。化学と生物。25(6)387-391.
- 八木宏樹 (1989) : テナガエビ科及びクルマエビ科エビの生態に及ぼす環境要因の影響に関する研究。道原環水研試験報 (1)1-119.
- YAGI, H. (1989) : Promotion planning of regional fisheries with the Tomari Nuclear Plant. La mer (27):110-112.
- 八木宏樹, 中明幸広, 松田泰平 (1989) : 北海道西積丹海岸におけるリモートセンシングによる磯焼け調査 (短報)。道原環水研試験報, (1)121.
- 八木宏樹, 中明幸広, 宮園章, 松田泰平 (1989) : 北海道西積丹海岸におけるリモートセンシングによる磯焼け調査 II (短報)。道原環水研試験報, (1)123.
- 八木宏樹, 中明幸広, 宮園章, 松田泰平 (1989) : 後志管内神恵内村沼前岬から竜神岬にいたる藻場調査について (短報)。道原環水研試験報, (1)125.
- 宮園章, 松田泰平, 中明幸広, 八木宏樹 (1989) : エゾバフンウニ (*Strongylocentrotus intermedius*) とキタムラサキウニ (*S. nudus*) の交雑種について: 受精および浮遊幼生の観察 (短報)。道原環水研試験報: (1)127.
- CECCALDI, H. J and YAGI, H. (1990) : Role of temperature and salinity on survival and growth of crustacean larvae. La mer (28):260-265.
- 小達恒夫, 宮園章, 築田満, 八木宏樹, 米田義昭 (1993) : 1988年春季岩内湾における植物プランクトンおよび繊毛虫類の鉛直分布。沿岸海洋研究ノート (30):194-200.
- 八木宏樹 (1993) : サハリン研究交流訪問記'93-オホーツクの向こう側-。北水試だより 22:15-20.
- 八木宏樹, 武藤卓志 (1993) : 1990-91~91-92年の岩内湾におけるスケトウダラ *Theragra chalcogramma* (Pallas) 卵稚仔の分布動向と最近の特徴。北水試研報, 42:91-100.
- 八木宏樹 (1994) : 沖合水温自動観測ブイSEACOMによる水温測定。北水試だより 26:2-6.
- 八木宏樹 (1994) : 対馬暖流の果て - サハリン南西海岸における磯焼け調査 - 北水試だより 27:34-39.
- 八木宏樹 (1995) : 北海道における栽培漁業に関する基礎研究。水産海洋研究, (59)1: 58-59.
- Yagi, H., I. Tanaka, G. Kantakov, A. Samatov, A. Nakata and T. Watanabe (1996) : Oceanographic observations of the Cold Water Belt in summer in the Soya Straits and adjacent sea areas and its origin estimated from nutrient, DO and T-S analyses. Proceedings of International Workshop on the Okhotsk Sea and Arctic;

- the Physics and Biogeochemistry implied to the Global Cycles (Influence of Sea Ice on Climate and Marine Ecosystems). Tokyo Japan. 58-62.
- 八木宏樹 (1997) : 北太平洋の海洋科学に関する国際研究機構 (PICES'96) 第5回年次総会に参加して. 北水試だより 37:8-11.
- 八木宏樹 (1997) : フランスにおける海洋学研究の現状とその成果. 札幌日仏協会会報. 26. p.6
- 八木宏樹 (1999) : 日本とフランスにおける水産養殖の道のり - 再び協調する時代がやってくる -. アクアネット, 2,(8):26-31.
- 赤池章一, 八木宏樹, 他 (1999) : 北海道積丹半島西岸における大型海藻と無節サンゴモ群落の分布面積の年変動. 北水試研報 56:125-135.
- 小熊孝幸・八木宏樹・佐々木一 (2000) : ハワイにおける海洋深層水利活用調査報告. *in* 「平成12年度海外視察会報告」, 北海道経済連合会, 環境・エネルギー委員会, 札幌市. p.3-17.
- 中多章文, 八木宏樹, 他 (2001) : 忍路湾における沿岸水温と栄養塩の関係. 北水試研報 59:31-41.
- 山本充・八木宏樹・小林敏克・大谷直史 (2001) : 環境保全型河川計画と景観構築に係る計画技術の研究. *in* 「環境保全型河川計画と景観構築に係る計画技術の研究」, 小樽商科大学ビジネス創造センターディスカッションペーパー・シリーズ No.75, 小樽商科大学, 小樽市. p.1-7.
- 八木宏樹 (2001) : 勝納川の生物環境保全をめざした河川計画に関する考察. *in* 「環境保全型河川計画と景観構築に係る計画技術の研究」, 小樽商科大学ビジネス創造センターディスカッションペーパー・シリーズ No.75, 小樽商科大学, 小樽市. p.8-41.
- 八木宏樹 (2002) : ゴミのゆくえとビジネス - 「ゴミは資源」というデンマークのあり方 -. Hoppoken, 118:42-45.
- 八木宏樹 (2002) : 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画 1. 北海道をとりまく漁業, 遊漁及びプレジャーボート等の実態. *in* 「平成13年度 北海道科学技術総合振興センター研究開発支援事業研究成果報告書 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画の構築」, 北海道科学技術総合振興センター, 札幌市, p.1-11.
- 八木宏樹 (2002) : 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画 3. 後志海域における漁業, 遊漁とプレジャーボート等のあり方. *in* 「平成13年度 北海道科学技術総合振興センター研究開発支援事業研究成果報告書 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画の構築」, 北海道科学技術総合振興センター, 札幌市, p.33-46.
- 八木宏樹 (2002) : 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画について - 漁港開放と漁業資源 -. 海と港, 20:13-24.
- 八木宏樹 (2003) : 第4回権利と経済と環境に関する国際シンポジウム - 沿岸域 -. 海と港, 21:69-74.
- 八木宏樹 (2009) : 北海道利尻島におけるクロマグロ (*Thunnus orientalis*) 漁業の繁栄と衰退. 人文研究. 117:91-107.
- 八木宏樹 (2009) : 海洋学及び水産水産学分野における日仏間協調の歴史と今後. *in* 「日仏学術交流のルネッサンス」, 日仏会館, 東京. p.118-123.
- 八木宏樹 (2012) : 食品産業と地域振興を考える - 韓国淳昌郡を例に -. 小樽商工会議所会報 444, 27-27.

八木宏樹 (2019) : 積丹余別地区におけるサケ科魚類そ上の試み. - サケ科魚類の生態からみた魚道の効果 -. 人文研究 (投稿中)

### (書籍等出版物)

海藻類の群落構成と植食動物の生息量からみた磯焼け発生機構の解明. in「磯焼けの発生機構の解明と予測技術の開発」水産庁特別研究成果シリーズ317, 農林水産技術会議事務局, 東京. p.6-15.

### (講演・口頭発表等)

YAGI, H. (1985) : Rôle de la temperature et de la salinité sur l'excrétion d'ammoniaque chez les postlarves de *penaeus japonicus* Bate. Rés. comm. coll. Fr-Japon. Océanogr., Marseille, France. p.107-108.

八木宏樹, 中明幸広, 松田泰平, 宮園章 (1986) : 温排水モニタリングについて. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.17-18.

八木宏樹 (1986) : クルマエビの成長, 生残, 呼吸に及ぼす環境要因の複合影響について. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.19.

八木宏樹, 中明幸広, 松田泰平 (1987) : 北海道西積丹海岸におけるリモートセンシングによる磯焼け調査. 日本水産学会春季大会講演要旨集, p.125.

八木宏樹, 中明幸広, 宮園章, 松田泰平 (1987) : 北海道西積丹海岸における磯焼け調査II. 日本水産学会秋季大会講演要旨集, p.129.

宮園章, 松田泰平, 中明幸広, 八木宏樹 (1989) : エゾバフンウニ (*Strongylocentrotus intermedius*) とキタムラサキウニ (*S. nudus*) の交雑種について: 受精および浮遊幼生の観察. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.11.

八木宏樹, 中明幸広, 宮園章, 松田泰平 (1989) : 後志管内神恵内村沼前岬から竜神岬にいたる藻場調査について. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.21.

宮園章, 松田泰平, 吉田秀嗣, 八木, 樹, 築田満, 小達恒夫, 米田義昭 (1990) : 岩内湾における植物プランクトン群集のサイズ組成. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.12.

宮園章, 松田泰平, 吉田秀嗣, 八木宏樹, 築田満, 小達恒夫, 米田義昭 (1990) : 岩内湾のピコプランクトン群集におけるCyanobacteriaの重要性. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.13.

築田満, 小達恒夫, 米田義昭, 宮園章, 松田泰平, 吉田秀嗣, 八木宏樹 (1990) : 岩内湾における粒状有機炭素および粒状有機窒素のフラックスについて. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.14.

宮園章, 松田泰平, 吉田秀嗣, 八木宏樹, 小達恒夫, 築田満, 米田義昭 (1990) : 北海道, 岩内湾におけるシアノバクテリア及びその他の微小植物プランクトンの季節的消長. 日本海洋学会秋季大会講演要旨, p.248-249.

YAGI, H. (1990) : Density variation and dispersion of embryonic, larval and juvenile walleye pollack *Theragra chalcogramma* (Pallas) in Iwanai Bay (Japan Sea, Hokkaido). Abstr. Fr-Japan. Coll. Determinism biol. recruit.sea. Maison fr-japon.13-14 Nov.1990, p.4.

八木宏樹, 武藤卓志, 松田泰平, 吉田秀嗣 (1991) : 岩内湾におけるスケトウダラ卵稚仔の分散. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.6.

松田泰平, 吉田秀嗣, 八木宏樹, 武藤卓志 (1991) : 岩内湾沿岸の磯焼けの進行について.

- 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.19.
- 吉田秀嗣, 八木宏樹, 松田泰平, 武藤卓志 (1991): ランドサット画像による海表水温の分布観測における問題点. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.20.
- 八木宏樹, G.A.KANTAKOV, 吉田武司, O.N.SHEPELEVA (1994): サハリン南西海岸における磯焼けの現状. 日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, p.20.
- 八木宏樹 (1995): サハリン南西海岸の対馬暖流海域における磯焼けの現状. 平成6年度北海道ブロック水産業関係試験研究推進会議増養殖研究部会報告書. p.6-7.
- 八木宏樹, 田中伊織, Gennady Kantakov, Andrey Samatov, 中多章文, 渡辺智視 (1996): 宗谷海峡およびその周辺海域における夏季の冷水帯の発達と起源について. 第11回オホーツク海と流氷に関する国際シンポジウム講演要旨集, p.205-208.
- 田中伊織, 八木宏樹, 中多章文, Gennady Kantakov, Andrey Samatov (1996): 直接測流で求めた宗谷海峡の流量. 第11回オホーツク海と流氷に関する国際シンポジウム講演要旨集, p.209.
- 中多章文, 田中伊織, 八木宏樹, Gennady Kantakov, Andrey Samatov (1996): Origin of water in the Cold Water Belt appearing offshore side of the Soya warm current near La Perouse Straits (the Soya Straits). 第11回オホーツク海と流氷に関する国際シンポジウム講演要旨集, p.214.
- 八木宏樹, 渡辺智視, 田中伊織, Gennady Kantakov, Andrey Samatov, 中多章文 (1996): 宗谷海峡およびその周辺海域における夏季の冷水帯構造とその起源. 1996年度日本海洋学会春季大会, p.36.
- Nakata A., I. Tanaka, H. Yagi, G. Kantakov and A. Samatov (1996): Origin of water in the Cold Water Belt appearing offshore side of the Soya Warm current near La Perouse strait (The Soya strait). Abstract in the North Pacific Marine Science Organization (PICES) fifth annual meeting, October 11-20, 1996 in Nanaimo, British Columbia, Canada. p.42.
- Tanaka, I., A. Nakata, H. Yagi, G. Kantakov and A. Samatov (1996): Result of direct current measurements in La Perouse strait (The Soya strait) 1995-1996. Abstract in the North Pacific Marine Science Organization (PICES) fifth annual meeting, October 11-20, 1996 in Nanaimo, British Columbia, Canada. p.61-62.
- Yagi, H., I. Tanaka, A. Nakata, T. Watanabe, G. Kantakov and A. Samatov (1996): Seasonal Changes of the cold water belt in the Soya straits and adjacent areas and its chemical and biological properties. Abstract in the North Pacific Marine Science Organization (PICES) fifth annual meeting, October 11-20, 1996 in Nanaimo, British Columbia, Canada. p.69-70.
- 八木宏樹, 田中伊織, G. Kantakov, A. Samatov, 中多章文, 渡辺智視 (1997): Oceanographic observation in winter 1996 in the Soya Straits and adjacent areas and its chemical and biological properties. 第12回オホーツク海と流氷に関する国際シンポジウム講演要旨集, p.143-148.
- 八木宏樹 (1999): 国際共同研究のあり方と方向性. 日本水産学会北海道支部例会講演要旨集, 札幌市. p.33.
- YAGI, H. (2002): To whom does the sea belong? The conflicts between the fisheries resources protection and the marine leisure development on the coast of Hokkaido, Japan. 4th International Conference -Property Rights, Economics & Environment-. Université d'Aix-Marseille II, Aix-en-Provence, France.



- 八木宏樹 (2004) : インターネットでみる仏領ケルゲレン諸島 (インド洋・南極域) の概要. 日仏海洋学会学術研究発表会講演要旨集. 東京. p.10.
- 赤池章一・吉田秀嗣・川井唯史・秋野秀樹・八木宏樹・富山優 (2008) : 航空写真がとらえた藻場の変遷. 磯焼け対策全国協議会シンポジウム「藻場を見守り育てる知恵と技術」講演要旨集, 東京
- YAGI, H. and R. YAGISAWA (2008) : Disappearance of pacific bluefin tuna (*Thunnus orientalis*) stock caused by natural and artificial environmental changes around the coasts of Rishiri Island in northern Hokkaido in Japan. Colloque franco-japonais d'Océanographie 2008 -Le changement global: interactions homme-milieux marins- Marseille, France. p.110.
- 柵瀬信夫・中村華子・林文慶・伏見直基・高木真治・八木宏樹・望岡典隆・高崎正風・大越徹夫 (2015) : 天然ウナギ資源の保護再生デザインー 6. 平成27年度日本水産学会秋季大会講演要旨集. 仙台.
- 八木宏樹・島菜穂子・所菜里・森嶋あゆみ・柵瀬信夫・上野恵美・安宅紀博・伏見直基・神山浩樹・高木真治 (2016) : 余別川支川余別新川における手作り簡易型魚道を用いたサケ科魚類そ上復活の試み. 第50回日本水環境学会講演要旨集, 徳島.

### (Works)

- 八木宏樹 (編) (2000) : 生態系に配慮した新しい環境調査法及び解析手法の開発. (株) ジオテックとの共同研究報告書
- 八木宏樹 (編) (2001) : 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画の構築. ノーステック財団助成金報告書
- 八木宏樹 (編) (2001) : 青函トンネル内浸透水及び空間の有効利用に関する研究. (株) ジオテックとの共同研究報告書
- 八木宏樹 (編) (2001) : 生態系に配慮した新しい環境調査法及び解析手法の応用研究. (株) ジオテックとの共同研究報告書
- 八木宏樹 (編) (2002) : 平成13年度北海道科学技術総合振興センター研究開発支援事業研究成果報告書 - 漁業と海洋レジャー産業の調和をめざした海面利用計画の構築 -. 北海道科学技術総合振興センター助成金報告書
- 八木宏樹, 他 (2003) : 循環型産業社会構造に向けた廃棄物処理業の在り方Ⅱ. 北海道産業廃棄物協会
- 八木宏樹, 他 (2011) : 「小樽市勝納川 (二級河川) における河川整備10年の経過とその河川生態系・地域経済への効果及び住民意識の変遷に関する研究」, 河川整備基金助成事業報告書
- 李濟民・澤田芳郎・中村秀雄・八木宏樹 (2011) : 「韓国における北海道食品 (農水畜産物) の安全性に対する意識調査及び農商工連携商品開発に係るビジネス習慣の差異に関する日韓共同研究」, 小樽商科大学重点領域研究助成事業報告書
- 李濟民・八木宏樹・中村秀雄・澤田芳郎 (2012) : 「食品産業の海外とくに中国展開における日韓共同ビジネス支援事業に関する研究」, 小樽商科大学重点領域研究助成事業報告書
- 李濟民・八木宏樹・猪口純路・荒川義人・オム・ヨンスク・ヤン・ピョンウ (2013) : 「北海道食品の輸出に向けた味覚の国際比較調査及び国際マーケティング調査」, ノーステック財団助成事業報告書
- 八木宏樹・柵瀬信夫 (2016) : 河川環境改善による水産資源回復対策事業 - サケ産卵水

- 路等による豊かな森川海づくり－実績報告書（積丹町サケ類資源回復対策プロジェクトチーム委託事業）
- 八木宏樹・菊池正紀・竹内あかり・沼田ゆかり（2016）：漁業系廃棄物資源利活用推進事業－ウニ殻等を活用した新素材開発による地域活性化－実績報告書（積丹町ウニ殻等有効利用プロジェクトチーム委託事業）
- 八木宏樹・森雅人・山下成治（2016）：冬季観光体験メニュー開発委託事業実績報告書（積丹町委託事業）
- 八木宏樹 他（2016）：学生インターンシップ受入基盤整備委託事業報告書（積丹町委託事業）
- 八木宏樹・柵瀬信夫（2017）：平成28年度河川環境改善による水産資源回復対策事業－サケ産卵水路等による豊かな森川海づくり－実績報告書（積丹町サケ類資源回復対策プロジェクトチーム委託事業）
- 八木宏樹・菊池正紀・竹内あかり（2017）：平成28年度漁業系廃棄物資源利活用推進事業－ウニ殻等を活用した新素材開発による地域活性化－実績報告書（積丹町ウニ殻等有効利用プロジェクトチーム委託事業）
- 八木宏樹・佐藤雅弘（2017）：平成28年度「生ウニの鮮度管理と品質保持向上に関する研究」報告書。
- 八木宏樹・柵瀬信夫（2018）：平成29年度「河川環境改善による水産資源回復対策事業－サケ産卵水路等による豊かな森川海づくり－」実績報告書（積丹町サケ類資源回復対策プロジェクトチーム委託事業）。
- 八木宏樹・菊池正紀・竹内あかり（2018）：平成29年度「漁業系廃棄物資源利活用推進事業－ウニ殻等を活用した新素材開発による地域活性化－」実績報告書（積丹町ウニ殻等有効利用プロジェクトチーム委託事業）。
- 八木宏樹・佐藤雅弘（2018）：平成29年度「生ウニの鮮度管理と品質保持向上に関する研究Ⅱ」報告書。
- 八木宏樹・柵瀬信夫（2019）：平成30年度「河川環境改善による水産資源回復対策事業－サケ産卵水路等による豊かな森川海づくり－」実績報告書（積丹町サケ類資源回復対策プロジェクトチーム委託事業）。（2019年3月予定）
- 八木宏樹・菊池正紀・竹内あかり（2019）：平成30年度「漁業系廃棄物資源利活用推進事業－ウニ殻等を活用した新素材開発による地域活性化－」実績報告書（積丹町ウニ殻等有効利用プロジェクトチーム委託事業）。（2019年3月予定）

#### **(競争的資金等の研究課題)**

共同研究「環境に配慮した河川景観構築と市民生活への影響基礎調査」ホクサイテック財団助成金

研究期間：2000年 代表者：八木 宏樹

共同研究「生態系に配慮した新しい環境調査法及び解析手法の開発」

研究期間：2000年 代表者：八木 宏樹

共同研究「産業の調和をめざした海面利漁業と海洋レジャー用計画の構築」ノーステック財団助成金

研究期間：2001年 代表者：八木 宏樹

共同研究「生態系に配慮した新しい環境調査法及び解析手法の応用研究」

研究期間：2001年 代表者：八木 宏樹

共同研究「青函トンネル内浸透水及び空間の有効利用に関する研究」

研究期間：2000年-2001年 代表者：八木 宏樹

共同研究「循環型社会構築に向けた廃棄物処理業の在り方」

研究期間：2003年 代表者：八木 宏樹

共同研究「小樽市勝納川（二級河川）における河川整備10年の経過とその河川生態系・地域経済への効果及び住民意識の変遷に関する研究」河川整備基金助成事業

研究期間：2011年 代表者：八木 宏樹

共同研究「韓国における北海道食品（農水畜産物）の安全性に対する意識調査及び農商工連携商品開発に係るビジネス習慣の差異に関する日韓共同研究」

研究期間：2011年 代表者：李濟民

共同研究「食品産業の海外とくに中国展開における日韓共同ビジネス支援事業に関する研究」

研究期間：2012年 代表者：李濟民

共同研究「北海道食品の輸出に向けた味覚の国際比較調査及び国際マーケティング調査」ノーステック財団助成事業

研究期間：2013年 代表者：李濟民